



当日のライトアジ仕掛け
 竿=全長1.8m オモリ負荷表示10〜40号
 7:30調子ゲームロッド
 コマセカゴ=アンドンピンオモリ40号
 ハリス=2号
 ハリ=ムツ10号



▲多点掛けも思いのまま



▲クロダイも交じる

深20メートルのポイントだが、根が荒い。船長からは、「ビシが着底したらすぐに2.5メートル上げてください。底を感じたらすぐに上げてください。3メートルからコマセを振って4メートル付近を探ってください。4.5メートル



▲東京湾のライトアジは当分好調が続きそう



▲弁天屋では全日船のほか午前、午後船もある

前半は小型が入れ食い
 7時半出船予定なのだが、予約者全員が船に乗り込んだ

「なんてこった！」とあきれ返るほど、湾奥のアジが釣れ盛っている。ちよつと様子見に行こうかと金沢八景の弁天屋に車を走らせたのは11月27日の早朝。前日は真冬の寒さだったが、当日はボカボカ陽気で微風の子報が出ていた。ライトなタックルでのんびりと遊ぶには最高の一日になりそう。

7時15分に船着き場を離れる。片舷6名、総勢12名が釣り座を構えた。船長が最初にチョイスしたのは富岡沖の水深19メートルのポイント。7時45分にスタートした。船長の指示は底から1メートルくらいでコマセを振って2〜2.5メートルあたりを探ってくださいとのこと。

僕は1メートルでパッパッ、2メートルでパッと振ってホルダーに置き竿。カメラを手にして船中の様子を撮影して回った。初っ端から入れ食い状態で指示どおりに竿を入れた人はすぐに釣れる。一荷も普通で3本バリ仕掛けの人はトリプル釣果だ。これは数がのびるはずだ。

あたりでもいいです」と指示が出た。僕は3メートルでパッパッ、4メートルでパッとコマセを振ってアタリを待った。このパターンで25センチ級が連発。小アジと比べると、釣り味もずいぶんいい。釣った中アジは体表も脂でヌルヌルしていて、おいしいこと間違いなし！船中でも入れ食いモードだ。ある程度の数を釣ったので写真撮影に動いたが、皆さんの

▼ポイントによってはタナの取り方に注意



11時過ぎに僕の竿にも強い引き。30センチ超えのアジだった。これならいいよね。そのしばらく後、滅茶苦茶強い引きにドラッグを緩めて対処したものの、ヤリトリ中にフツ……「クロダイにハリスを切られた？」と思ったが、ハリスは残っていた。ということとは、大アジの口切れ？ だとしたら悔しいな。その後も順調に中アジが釣れ続く。2.5メートルから4メートルまでパッ、パッ、パッとコマセの帯を作りながら小刻みに誘ってやると、すぐに

横着釣法で楽しむ
 11時過ぎに僕の竿にも強い引き。30センチ超えのアジだった。これならいいよね。そのしばらく後、滅茶苦茶強い引きにドラッグを緩めて対処したものの、ヤリトリ中にフツ……「クロダイにハリスを切られた？」と思ったが、ハリスは残っていた。ということとは、大アジの口切れ？ だとしたら悔しいな。その後も順調に中アジが釣れ続く。2.5メートルから4メートルまでパッ、パッ、パッとコマセの帯を作りながら小刻みに誘ってやると、すぐに

これで満足。1時20分の納竿時までのんびりと竿を出し、57尾のお持ち帰り。土産には十分すぎる。処理するのも大変だ。竿頭は左舷ミヨシ氏で147尾。

ククッだ。コマセをまくとすぐにアタリが出る。ここは手持ち竿で頑張らなくちゃいけないシーンだ。けれども、ある程度の数も釣ったことだし、お天気もいいので横着釣法でのんびりと釣ることにした。コマセをまいて置き竿でアタリを待つ。この歳になると疲れもあって、終日バリバリ釣る体力もなく、サボり始めるのが常。まあ、それでいい。横着釣法でもポツリポツリと釣れ続けるからありがたい。12時半のことだ。置き竿が思いっきり絞られた。急いで竿を手にし、ドラッグ調整をして強い引きをかわす。引きからしてタダ物ではない！ 慎重に浮かせたら、大アジの魚影が海面下にユラッ。急いでマイタモを手にしてすくうとデカイ！ 37センチあった。130号ビシで釣る大アジとは、釣り味が全く違う。40号ビシだから引きも強烈だ。アジが青物であることを改めて認識させられた。

ククッだ。コマセをまくとすぐにアタリが出る。ここは手持ち竿で頑張らなくちゃいけないシーンだ。けれども、ある程度の数も釣ったことだし、お天気もいいので横着釣法でのんびりと釣ることにした。コマセをまいて置き竿でアタリを待つ。この歳になると疲れもあって、終日バリバリ釣る体力もなく、サボり始めるのが常。まあ、それでいい。横着釣法でもポツリポツリと釣れ続けるからありがたい。12時半のことだ。置き竿が思いっきり絞られた。急いで竿を手にし、ドラッグ調整をして強い引きをかわす。引きからしてタダ物ではない！ 慎重に浮かせたら、大アジの魚影が海面下にユラッ。急いでマイタモを手にしてすくうとデカイ！ 37センチあった。130号ビシで釣る大アジとは、釣り味が全く違う。40号ビシだから引きも強烈だ。アジが青物であることを改めて認識させられた。

船宿information
 東京湾奥金沢八景
弁天屋
 ☎045-701-9061
 (詳細は巻末の情報欄参照)
 宇野 泰幸船長
 ▶料金=ライトアジ兼合全日船一人9000円(エサ、氷付き)
 アオイソメは150円。午前船、午後船は各6800円(リール割戻あり)貸し竿、貸しバッテリー(有料)貸しビシ無料(紛失時500円)WEB割戻、シニア割戻、そのほか各種割戻あり。駐車場平日500円、土日祝日1000円

スソは31尾。40〜50尾ほどの人が多かった。こんな釣果がまだまだ続きそう。頑張つて数をのばすのもよし、ある程度釣つてのんびりと楽しむのもよし……好釣果で終えたい年末の納竿釣行にも絶対おすすめめのぜいたくターゲットですよ！



▲大アジの引きは最高だった

知得! Tips and Tricks 船宿の小道具
 多くの船宿が「オリジナル仕掛け」や小道具を販売している。過去に船宿で買った小道具も、優れモノが多くて重宝している。今回はテンピンを購入した。船上に置いてある貸しビシに付いていたが、使い勝手がよさそう。静岡の地方の釣具店で見つけて仕入れ始めたらいい。使ってみたが、期待を裏切らなかった。プロの目で見たおすすめ品が置いてあるから要チェック！

◀ストレートタイプの小型テンピン
 ▶貸し道具にも利用されている



▲釣り場の水深は20メートル前後

**安定釣果のライトアジ！
 納竿釣行に絶対おすすめ**

◎東京湾奥金沢八景発↓富岡〜本牧沖 本誌ABC(神奈川)平林 潔 Kyoichi Hirabayashi